

東証1部 4631



DIC 株式会社

2020年度第3四半期決算 説明資料

2020年11月

Color & Comfort



ハイライト

3Qの振り返り

- 売上高は、減収。当第3四半期（7～9月）は新型コロナの感染拡大が幅広い地域で一旦落ち着き、出荷回復の傾向が見られたが、コロナ以前の需要を取り戻すには至らず前年同期比では全てのセグメントで減収となった。第2四半期（4～6月）との比較では5.2%の増収となった
- 営業利益は、減益。海外ではインキを中心に出荷数量の回復が見られたが、化粧品用顔料は苦戦が継続した。国内では自動車や建材など幅広い工業製品の需要が回復途上にあるが、高付加価値品の出荷が低調となった。結果として全体の品目構成は悪化した。原料価格の低下や活動費の減少と合理化を含めたコスト削減効果により補ったが、減益となった
- 純利益は、減益。買収関連の一時費用が発生した

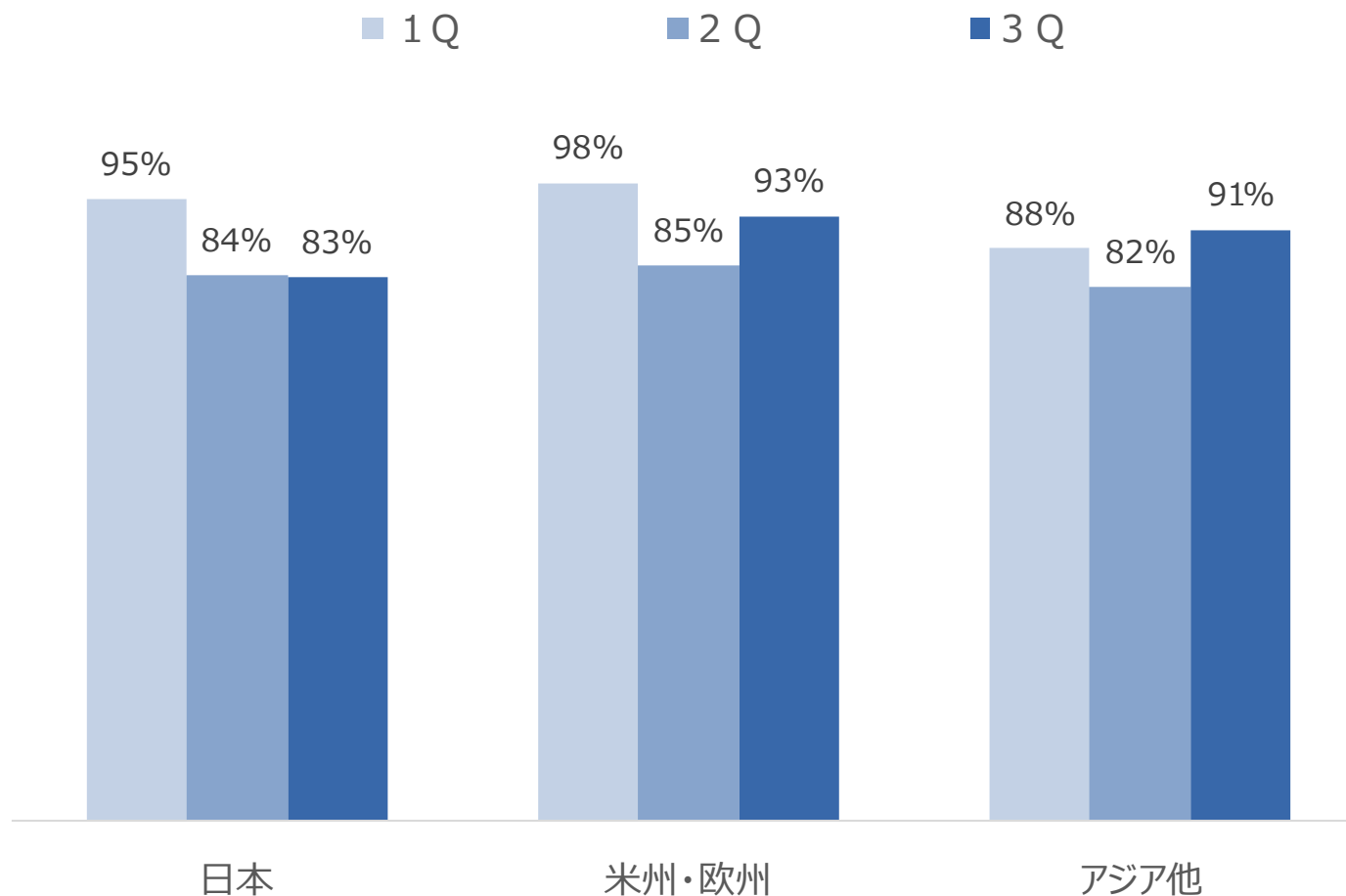
通期の見通し

- 営業利益350億円に変更なし。地域ごとの強弱があり、セグメント別の内訳のみを変更

当社グループの決算期は、海外子会社・国内会社ともに1月1日から12月31日までの12ヶ月を連結対象期間としています。
当第3四半期は、2020年1月1日から9月30日までの9ヶ月間を連結対象期間として記載しています。

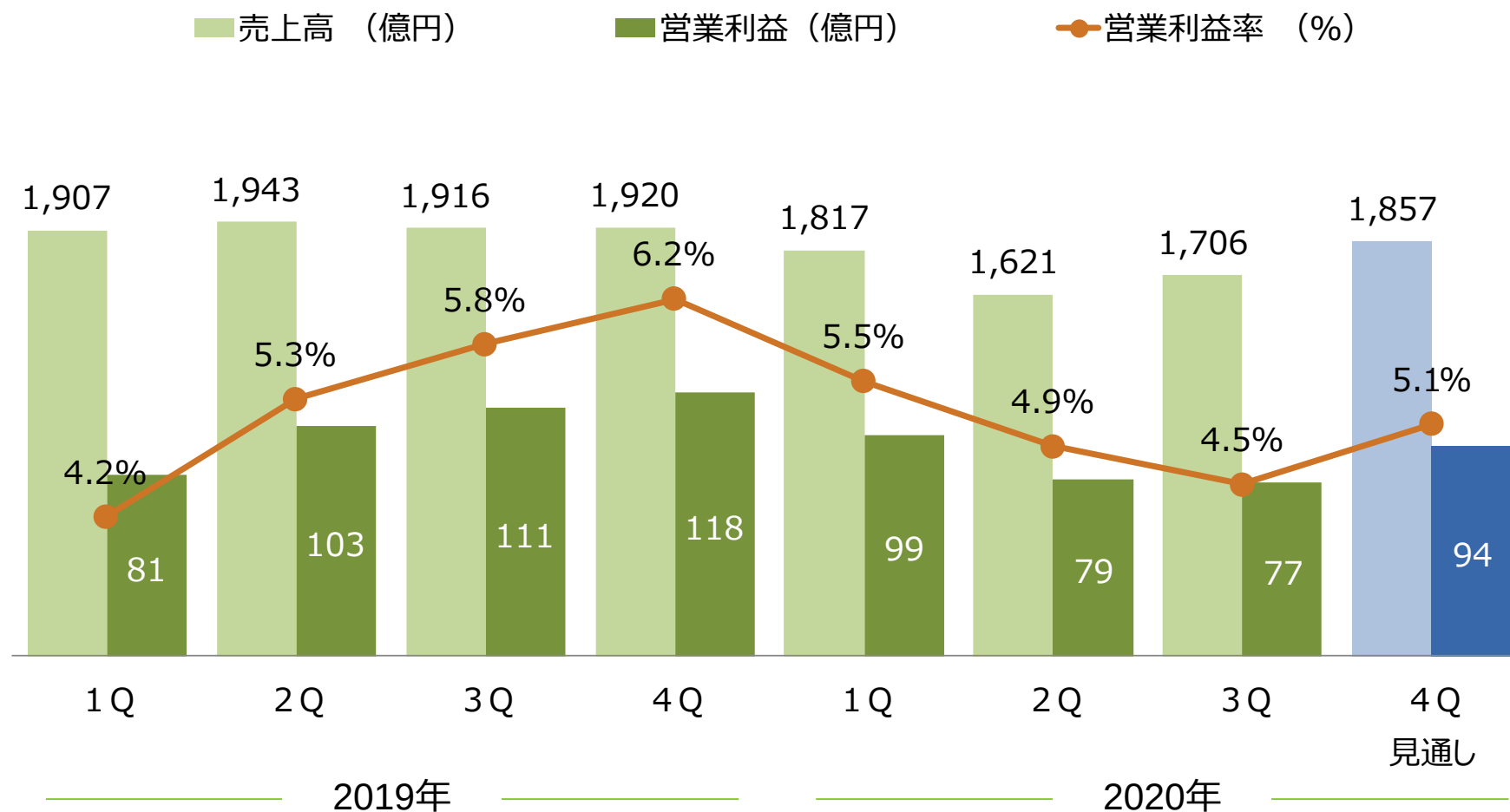
地域別 四半期売上高前年比の推移

米州・欧州およびアジア他では3Qの回復が見られるが、日本は回復の途上にある



2019年－2020年 四半期業績推移

3 Qで営業利益は下げ止まり、4 Q以降は緩やかな回復を見込む



業績概要

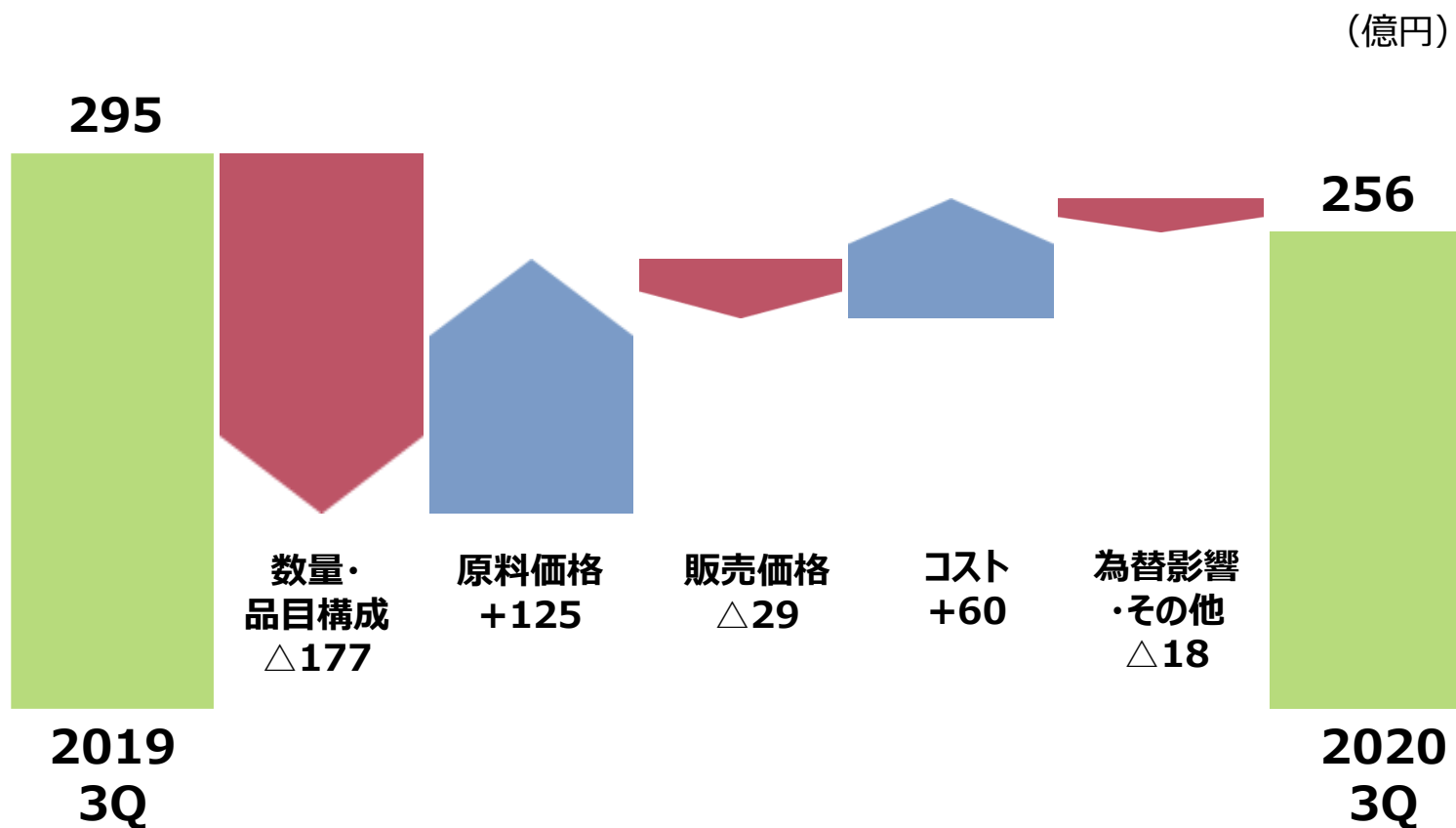
(億円)	2019 3Q	2020 3Q	増減比	現地通貨 ベース 増減比
売上高	5,766	5,143	△10.8%	△8.2%
営業利益	295	256	△13.2%	△8.1%
営業利益率	5.1%	5.0%	—	—
経常利益	300	230	△23.4%	—
純利益*	183	139	△24.1%	—
1株当たり純利益 (円)	193.64	146.99	—	—
EBITDA**	501	436	△12.9%	—
平均レート	USD/円	109.15	107.16	△1.8%
	EUR/円	122.56	120.49	△1.7%

* 親会社株主に帰属する四半期純利益

**EBITDA：親会社株主に帰属する四半期純利益＋法人税等合計＋支払利息－受取利息＋減価償却費＋のれん償却額

営業利益増減要因

- 第2四半期（4-6月）から回復は見られたものの、前年同期比では出荷数量の落ち込みは依然として大きい
- 原料価格の低下に加え、合理化を含め幅広くコストが減少したが、数量の落ち込みをカバーできず減益となった



BASF Colors & Effects社（BCE社）の事業取得について

スケジュール

クロージングに向けた作業に当初の予定よりも時間を要しているため、
2021年第1四半期中に変更

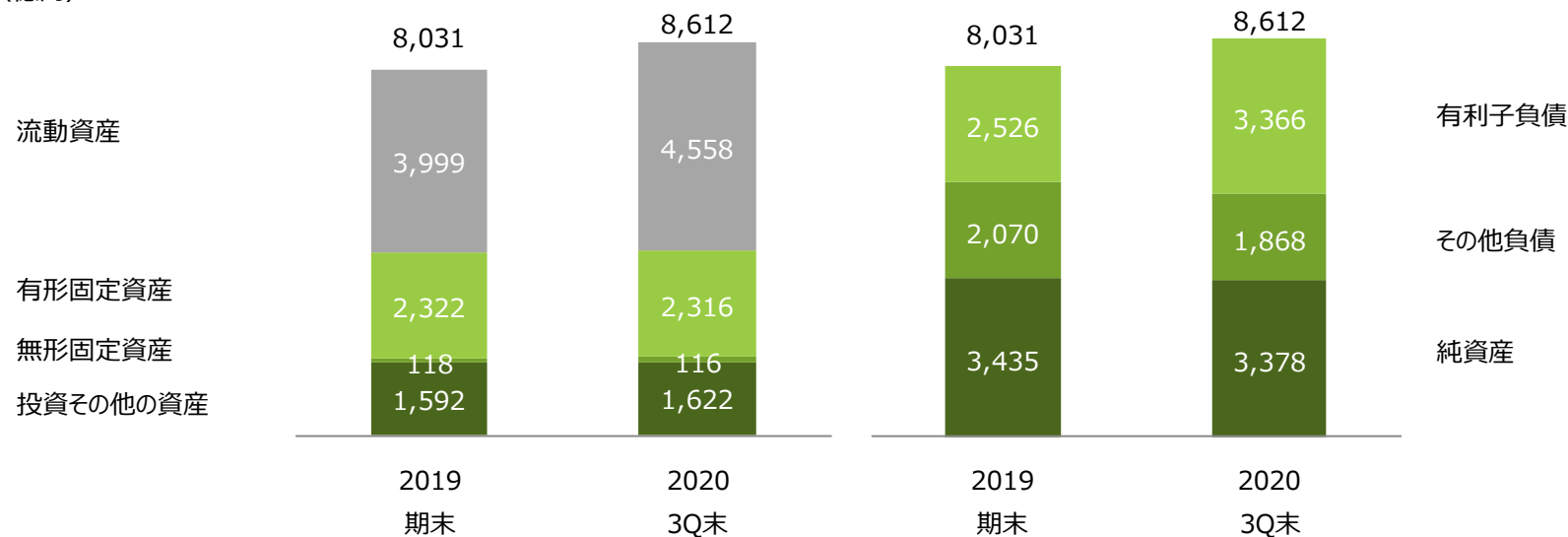
2020年度業績への影響

本件は2020年度業績見通しには織り込んでいないため、
今回の取得時期変更による影響はなし

財務体質

バランスシート

(億円)



財務体質

(億円)	2019 期末	2020 3Q末	増減
有利子負債	2,526	3,366	840
ネット有利子負債	2,358	2,266	△ 92
純資産	3,435	3,378	△ 57
D/CLレシオ *	42.4%	49.9%	
ネットD/CLレシオ **	40.7%	40.2%	
自己資本比率	38.9%	35.6%	
1株当たり純資産 (円)	3,304.34	3,235.75	
期末レート USD/円	108.71	105.50	

⚠ 手元現金預金積み上げによる増加

* D/CLレシオ : 有利子負債 / (有利子負債 + 純資産)

** ネットD/CLレシオ : ネット有利子負債 / (ネット有利子負債 + 純資産)

セグメント別業績

(億円)	売上高					営業利益					営業利益率	
	2019 3Q	2020 3Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2019 3Q	2020 3Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2019 3Q	2020 3Q
パッケージング & グラフィック	3,121	2,862	△ 259	△ 8.3%	△ 4.6%	131	135	5	+ 3.5%	+ 12.4%	4.2%	4.7%
日本	854	753	△ 101	△ 11.8%	△ 11.8%	45	34	△ 11	△ 24.4%	△ 24.4%	5.2%	4.5%
米州・欧州	1,840	1,741	△ 98	△ 5.3%	+ 0.1%	55	73	18	+ 32.6%	+ 49.4%	3.0%	4.2%
アジア他	511	446	△ 65	△ 12.7%	△ 9.2%	31	31	0	+ 0.9%	+ 4.0%	6.0%	6.9%
連結調整	△ 84	△ 78	6	-	-	1	△ 2	△ 3	-	-	-	-
カラー & ディスプレイ	896	799	△ 97	△ 10.8%	△ 8.5%	88	63	△ 25	△ 28.9%	△ 26.7%	9.8%	7.9%
日本	227	204	△ 22	△ 9.9%	△ 9.9%	41	40	△ 0	△ 0.5%	△ 0.5%	17.9%	19.8%
海外	744	651	△ 93	△ 12.5%	△ 9.6%	47	22	△ 25	△ 52.9%	△ 49.1%	6.4%	3.4%
連結調整	△ 75	△ 57	18	-	-	0	0	△ 0	-	-	-	-
ファンクショナルプロダクツ	1,999	1,704	△ 295	△ 14.8%	△ 14.1%	129	112	△ 17	△ 13.1%	△ 12.4%	6.5%	6.6%
日本	1,482	1,280	△ 202	△ 13.6%	△ 13.6%	74	56	△ 19	△ 25.4%	△ 25.4%	5.0%	4.3%
海外	689	574	△ 116	△ 16.8%	△ 14.8%	54	57	3	+ 5.1%	+ 7.2%	7.8%	9.9%
連結調整	△ 171	△ 149	22	-	-	1	0	△ 1	-	-	-	-
その他、全社・消去	△ 250	△ 222	28	-	-	△ 53	△ 55	△ 2	-	-	-	-
連結合計	5,766	5,143	△ 623	△ 10.8%	△ 8.2%	295	256	△ 39	△ 13.2%	△ 8.1%	5.1%	5.0%
USD/円	109.15	107.16		△ 1.8%		109.15	107.16		△ 1.8%			
EUR/円	122.56	120.49		△ 1.7%		122.56	120.49		△ 1.7%			

パッケージング&グラフィック

売上高

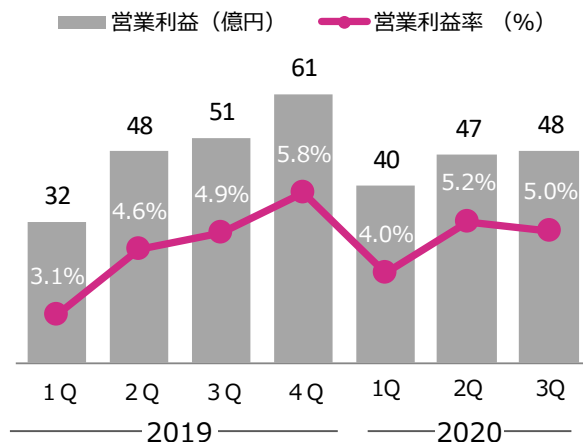
- 米州・欧州ではパッケージ用インキが引き続き堅調。出版用インキでも出荷の回復が見られ、現地通貨ベースでは前年並み
- アジアでは第3四半期（7-9月）に中国の売上が回復したものの、前年同期比では減収
- ユーロおよび新興国通貨安の影響により円貨ベースでの減収幅が拡大

営業利益

- 米州・欧州で印刷インキの出荷が堅調であることから増益を維持。合理化効果、原料価格低下も寄与
- 日本国内では高付加価値品であるジェットインキの出荷が落ち込んだため、利益率が低下

(億円)	売上高					営業利益					営業利益率	
	2019 3Q	2020 3Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2019 3Q	2020 3Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2019 3Q	2020 3Q
パッケージング&グラフィック	3,121	2,862	△ 259	△ 8.3%	△ 4.6%	131	135	5	+ 3.5%	+ 12.4%	4.2%	4.7%
日本	854	753	△ 101	△ 11.8%	△ 11.8%	45	34	△ 11	△ 24.4%	△ 24.4%	5.2%	4.5%
米州・欧州	1,840	1,741	△ 98	△ 5.3%	+ 0.1%	55	73	18	+ 32.6%	+ 49.4%	3.0%	4.2%
アジア他	511	446	△ 65	△ 12.7%	△ 9.2%	31	31	0	+ 0.9%	+ 4.0%	6.0%	6.9%
連結調整	△ 84	△ 78	6	-	-	1	△ 2	△ 3	-	-	-	-

四半期営業利益/営業利益率



主要製品の売上高推移

増減比	
パッケージ用インキ*	△ 1% 米州・欧州では比較的安定したが、アジアでは、中国で新型コロナの影響からの力強い回復が見られた
出版用インキ*	△ 21% 各地域で前四半期からの回復が見られたが、コロナ禍により落ち込んだ需要を取り戻すには至らず、減収
ジェットインキ	△ 9% 在宅勤務の増加によりオフィス用途の需要が減少し、減収
ポリスチレン	△ 14% 製品価格の低下に伴い減収
多層フィルム	△ 0% 採用増加により、底堅い出荷

*現地通貨ベース増減比

カラー＆ディスプレイ

売上高

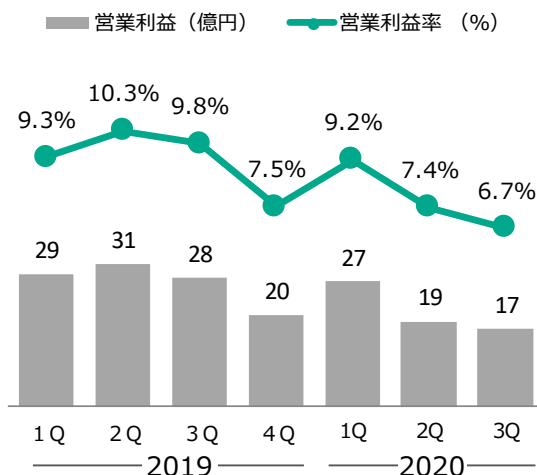
- ・ 液晶パネル市場の回復に伴い、カラーフィルタ用顔料やTFT液晶の出荷は回復基調にある
- ・ 生活様式の変化により大きな影響を受けている化粧品用顔料では低調な出荷が続いている

営業利益

- ・ 海外において生産調整に伴う一部工場の稼働率の低下により、固定費などのコストを吸収できず大幅に減益

(億円)	売上高					営業利益					営業利益率	
	2019 3Q	2020 3Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2019 3Q	2020 3Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2019 3Q	2020 3Q
カラー＆ディスプレイ	896	799	△ 97	△10.8%	△8.5%	88	63	△ 25	△28.9%	△26.7%	9.8%	7.9%
日本	227	204	△ 22	△9.9%	△9.9%	41	40	△ 0	△0.5%	△0.5%	17.9%	19.8%
海外	744	651	△ 93	△12.5%	△9.6%	47	22	△ 25	△52.9%	△49.1%	6.4%	3.4%
連結調整	△ 75	△ 57	18	-	-	0	0	△ 0	-	-	-	-

四半期営業利益/営業利益率



主要製品の売上高推移

増減比		
一般顔料	△9%	インキ用顔料は低調な出荷が続いているが、塗料・プラスチック用顔料では回復の傾向が見られる
機能性顔料	△15%	カラーフィルタ用顔料の出荷は回復傾向にあるが、化粧品用顔料では苦戦が続いている
液晶	△10%	液晶パネル市場の回復により底堅い出荷。前年差は縮小傾向にある
ヘルスケア食品	△14%	

ファンクショナルプロダクツ

売上高

- 大きく売上が落ち込んだ第2四半期からは回復しつつあるが、本格的な回復には至らず減収。海外では自動車関連の用途を中心に、日本に先行して売上が持ち直している

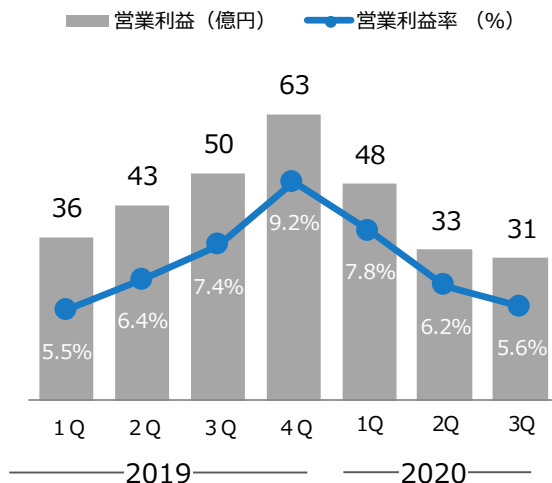
営業利益

- 全般的な出荷の落ち込みに加えて、高付加価値品であるエポキシ樹脂の減速により品目構成が悪化。原料価格の低下とコスト削減でカバーできず減益となった

(億円)	売上高					営業利益					営業利益率	
	2019 3Q	2020 3Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2019 3Q	2020 3Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2019 3Q	2020 3Q
ファンクショナルプロダクツ	1,999	1,704	△ 295	△14.8%	△14.1%	129	112	△ 17	△13.1%	△12.4%	6.5%	6.6%
日本	1,482	1,280	△ 202	△13.6%	△13.6%	74	56	△ 19	△25.4%	△25.4%	5.0%	4.3%
海外	689	574	△ 116	△16.8%	△14.8%	54	57	3	+ 5.1%	+ 7.2%	7.8%	9.9%
連結調整	△ 171	△ 149	22	-	-	1	0	△ 1	-	-	-	-

四半期営業利益/営業利益率

主要製品の売上高推移



増減比		
サステナブル樹脂*	△15%	自動車、住宅建築向け樹脂などの出荷が低調
エポキシ樹脂	△4%	5G関連の出荷が減速
PPSコンパウンド	△17%	需要が大幅に落ち込んだ2Qから回復しつつあるが減収
工業用テープ	△3%	スマートフォン向けは好調も、OA機器向け出荷が低調となり減収
中空糸膜モジュール	+ 2%	半導体製造用途の出荷が堅調に推移

*環境対応と機能性を高めることを目指した樹脂戦略製品の総称で、水性、UV硬化型、ポリエステル、アクリル、ウレタン樹脂が含まれる

連結貸借対照表

(億円)	2019 期末	2020 3Q末	増 減
流動資産	3,999	4,558	559
有形固定資産	2,322	2,316	△ 6
無形固定資産	118	116	△ 2
投資その他の資産	1,592	1,622	30
資産合計	8,031	8,612	581
流動負債	2,101	2,406	305
固定負債	2,495	2,828	333
負債合計	4,596	5,234	638
株主資本	4,074	4,097	23
その他の包括利益累計額 (為替換算調整勘定)	△ 947 (△727)	△ 1,034 (△859)	△ 87 (△132)
非支配株主持分	308	315	8
純資産合計	3,435	3,378	△ 57
負債純資産合計	8,031	8,612	581
期末レート USD/円	108.71	105.50	
自己資本比率	38.9%	35.6%	
有利子負債残高	2,526	3,366	840
現預金残高	168	1,100	932



- ・手元現預金の積み増しを実施
- ・結果、有利子負債も増加



連結損益計算書

(億円)	2019 3Q	2020 3Q	増 減
売上高	5,766	5,143	△ 623
売上原価	△ 4,530	△ 4,005	525
販売費及び一般管理費	△ 941	△ 882	59
営業利益	295	256	△ 39
金融収支	△ 10	△ 7	2
持分法投資利益	18	2	△ 16
為替差損益	△ 7	△ 9	△ 2
その他	4	△ 11	△ 15
経常利益	300	230	△ 70
特別利益	29	30	2
特別損失	△ 68	△ 55	12
税前利益	261	205	△ 56
法人税等	△ 65	△ 49	16
当期純利益	196	156	△ 40
非支配株主に帰属する当期純利益	△ 13	△ 17	△ 4
親会社株主に帰属する当期純利益	183	139	△ 44
平均レート USD/円	109.15	107.16	
EUR/円	122.56	120.49	

特別損益の内訳

	2019 3Q	2020 3Q
特別利益		
固定資産売却益	13	17
負ののれん発生益	-	13
関係会社株式及び出資金売却益	16	-
特別損失		
買収関連費用	△ 11	△ 34
固定資産処分損	△ 15	△ 14
リストラ関連退職損失	△ 6	△ 8
減損損失	△ 15	-
災害による損失	△ 12	-
貸倒引当金繰入額	△ 6	-
過去勤務費用償却額	△ 4	-

! BASF Colors & Effects社（BCE社）
買収関連

連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)	2019 3Q	2020 3Q	増 減
営業キャッシュ・フロー	302	430	128
(債権流動化影響の控除後)	(+ 432)	(+ 430)	(△2)
投資キャッシュ・フロー	△ 246	△ 292	△ 46
財務キャッシュ・フロー	447	757	310
(債権流動化影響の控除後)	(+ 317)	(+ 757)	(+ 440)
現金及び現金同等物の期末残高	699	1,047	348
フリーキャッシュ・フロー	56	138	82
(債権流動化影響の控除後)	(+ 186)	(+ 138)	(△48)
運転資本の増減額	△ 108	91	199
(債権流動化影響の控除後)	(+ 23)	(+ 91)	(+ 69)
設備投資・投融資	270	267	△ 4
減価償却費	243	240	△ 2

注) 連結キャッシュ・フロー計算書は、レビュー対象外のため、参考情報です。

2020年度：通期の業績見通し

売上高・利益に変更なし。セグメント別の内訳のみ変更

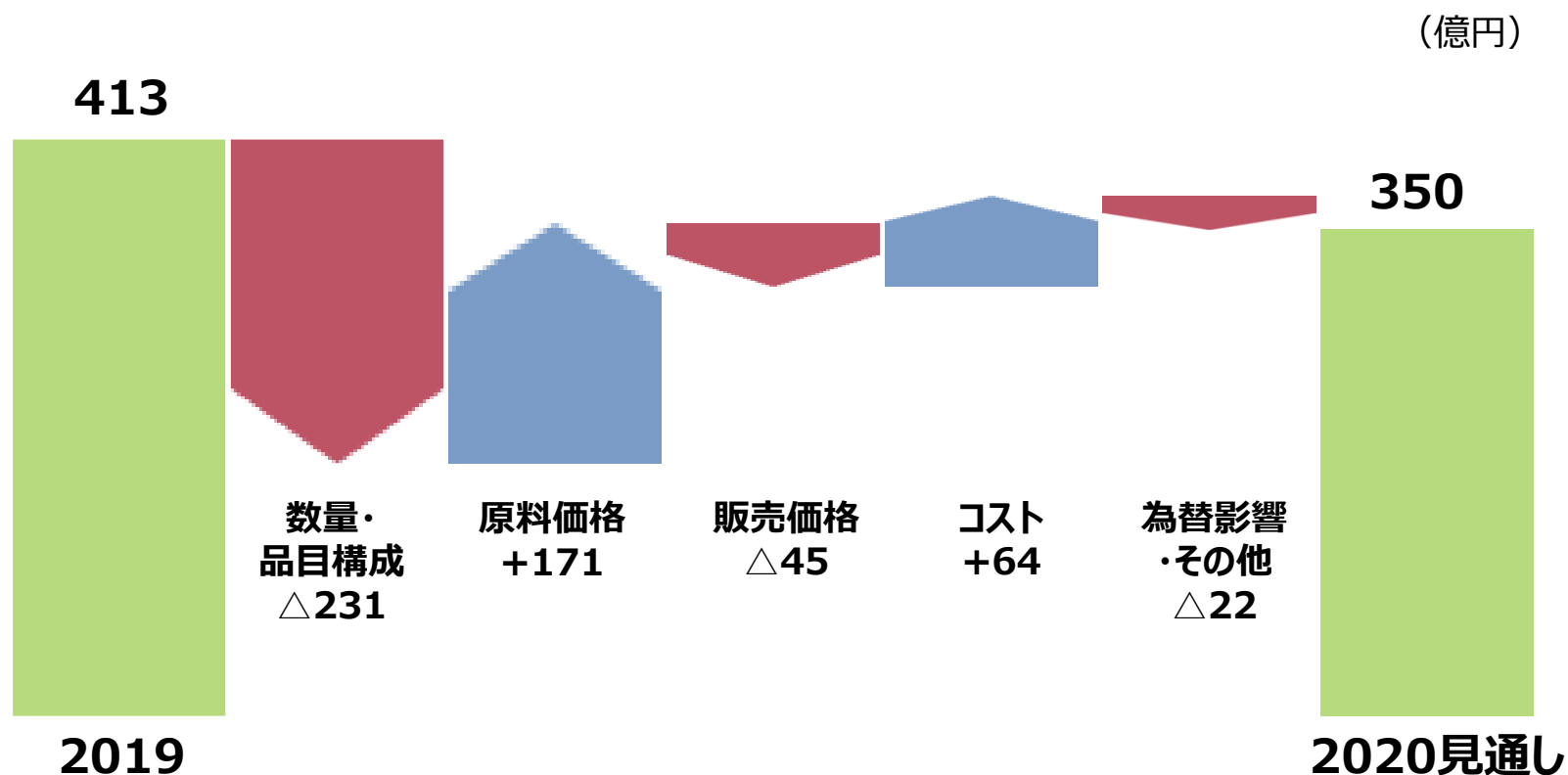
(億円)	2019	2020 見通し	増減比	現地通貨 ベース 増減比
売上高	7,686	7,000	△8.9%	△6.2%
営業利益	413	350	△15.3%	△10.2%
営業利益率	5.4%	5.0%	—	—
経常利益	413	315	△23.7%	—
純利益*	235	150	△36.2%	—
1株当たり純利益(円)	248.29	158.48	—	—
EBITDA	674	571	△15.3%	—
設備投資・投融資	375	350	△6.6%	※前回公表値380億円から変更
減価償却費	331	325	△1.9%	
平均レート				
USD/円	109.11	106.78	△2.1%	
EUR/円	122.13	119.35	△2.3%	
ROE	7.7%	4.8%		
D/CLシオ **	42.4%	44.7%		
年間配当／株(円)	100.0	100.0		
配当性向	40.3%	63.1%		

* 親会社株主に帰属する当期純利益

** D/CLシオ：有利子負債／（有利子負債＋純資産）

通期営業利益増減要因

- 出荷は回復基調にはあるものの、自動車や建材など幅広い工業製品の需要が回復途上にあること、生活様式の変化による需要減少が大きい化粧品用顔料で売上の回復に時間がかかる見通しであることから、通期では数量品目構成が大きく低下
- 原料価格下落効果は大きくなる見込みだが、出荷数量の落ち込みをカバーできず減益となる見込み



2020年度：通期のセグメント別業績見通し【前回公表値から内訳のみ変更】

(億円)	売 上 高					営 業 利 益					営 業 利 益 率	
	2019	2020 見通し	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2019	2020 見通し	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2019	2020 見通し
パッケージング & グラフィック	4,164	3,920	△ 244	△ 5.9%	△ 2.4%	192	195	3	+ 1.5%	+ 6.8%	4.6%	5.0%
日本	1,147	1,030	△ 116	△ 10.1%	△ 10.1%	64	48	△ 16	△ 24.4%	△ 26.2%	5.6%	4.7%
米州・欧州	2,443	2,374	△ 68	△ 2.8%	+ 2.2%	82	103	20	+ 24.6%	+ 33.5%	3.4%	4.3%
アジア他	687	629	△ 59	△ 8.5%	△ 4.9%	45	44	△ 1	△ 2.3%	+ 3.5%	6.5%	7.0%
連結調整	△ 113	△ 113	△ 0	-	-	1	△ 0	△ 1	-	-	-	-
カラー & ディスプレイ	1,164	1,075	△ 89	△ 7.7%	△ 4.7%	108	84	△ 24	△ 22.2%	△ 17.7%	9.3%	7.8%
日本	297	278	△ 19	△ 6.3%	△ 6.3%	48	58	9	+ 19.2%	+ 20.1%	16.3%	20.7%
海外	958	888	△ 70	△ 7.3%	△ 3.6%	60	26	△ 33	△ 55.8%	△ 48.2%	6.2%	3.0%
連結調整	△ 91	△ 91	△ 0	-	-	△ 0	△ 0	0	-	-	-	-
ファンクショナルプロダクツ	2,686	2,355	△ 331	△ 12.3%	△ 11.5%	192	151	△ 42	△ 21.7%	△ 20.7%	7.2%	6.4%
日本	1,993	1,770	△ 224	△ 11.2%	△ 11.2%	116	70	△ 46	△ 40.0%	△ 42.5%	5.8%	3.9%
海外	919	813	△ 107	△ 11.6%	△ 9.1%	75	81	7	+ 8.8%	+ 16.1%	8.1%	10.0%
連結調整	△ 227	△ 227	△ 0	-	-	2	△ 0	△ 2	-	-	-	-
その他、全社・消去	△ 328	△ 350	△ 22	-	-	△ 79	△ 79	△ 1	-	-	-	-
連結合計	7,686	7,000	△ 686	△ 8.9%	△ 6.2%	413	350	△ 63	△ 15.3%	△ 10.2%	5.4%	5.0%
USD/円	109.11	106.78		△ 2.1%		109.11	106.78		△ 2.1%			
EUR/円	122.13	119.35		△ 2.3%		122.13	119.35		△ 2.3%			

パッケージング & グラフィック

パッケージ用インキは底堅い出荷となる見込み。米州・欧州で前回見通しを上方修正

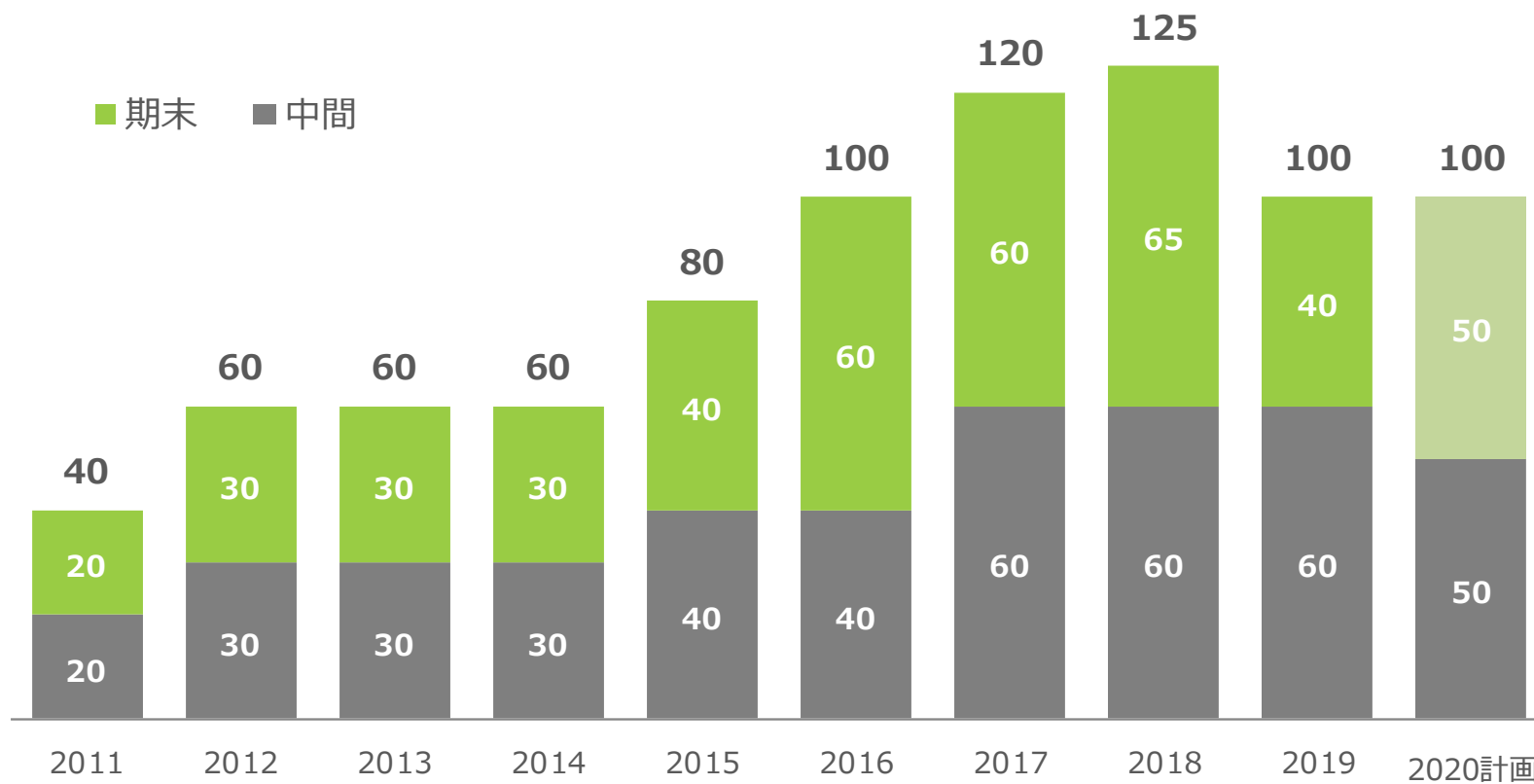
カラー & ディスプレイ

化粧品用顔料は生活様式の変化による影響が大きく需要の回復は遅れる見通し。前回見通しを下方修正

ファンクショナルプロダクツ

自動車関連製品は3Qから回復しつつあるが、全体的に緩やかな回復となる見通し。前回見通しを下方修正

年間配当は前年と同額の100円を計画（変更なし）



主なトピックス（2020年7月～9月）

7月

DICグループの「サステナビリティ指標」を設定
－全ての事業を対象に「環境負荷の低減」と「社会への貢献」を測るものさしとして活用－

7月

太陽インキ製造と共同開発した「高周波対応配線形成用新シードフィルム」が
第16回JPCA賞（アワード）を受賞
－ 5 G通信における高周波伝送損失を低減できる技術として高く評価されました－

7月

世界的なESG投資指標「FTSE4Good Index」「FTSE Blossom Japan Index」の構成銘柄に
2年連続で選定

7月

国内初、スピルリナ由来“フィコシアニン”を関与成分とする製品が機能性表示食品として届出受理

8月

東京大学を拠点とする「量子イノベーションイニシアティブ協議会」の設立メンバーに参画
－産官学間での量子コンピュータに関する情報交換を通じて未来の材料開発に応用－

8月

株式会社ルネサンスを当社の持分法適用関連会社から除外

8月

包装用の高意匠フィルム「梨地フィルム」の新製品としてバイオマスプラスチックを
使用した『DIFAREN® A7440Bio』を開発
－環境配慮型製品としてバイオマスマーク（バイオマス度20%）認定取得－

ニュースリリース
<https://www.dic-global.com/ja/news/2020/>



主なトピックス（2020年7月～9月）

8月

DIC化工のSMC (Sheet Molding Compound) および成形加工事業の譲渡契約を締結

9月

DICグラフィックス、完全子会社であるDIC機材株式会社を吸収合併

9月

米国DuPont（デュポン）社と水処理事業で戦略的パートナーシップ契約締結
－水処理向け中空糸脱気モジュール販売業務を協業しアジア・米国・欧州地域の販路拡大へ－

9月

「応用脳科学コンソーシアム」発足による脳科学とAI融合研究のテーマ
「脳モデル開発ユニット」に参画
－化学素材の観点から脳科学とAIの融合研究に取り組み、製品開発に活用－

9月

ポジティブ・インパクト・ファイナンスの契約締結について
－当社のSDGs目標達成への取り組みを金融機関が評価－

9月

第3回エコプロアワード「奨励賞」を受賞、エネルギーを使わずちょうどいい温度を保つ
『蓄熱シート』

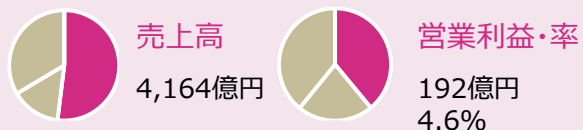
ニュースリリース
<https://www.dic-global.com/ja/news/2020/>



事業セグメントと主要製品

提供価値

パッケージング & グラフィック



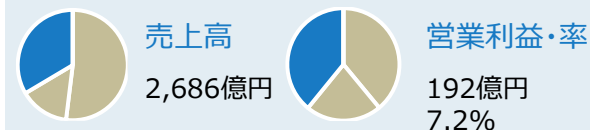
包装材料を通じて社会や暮らしに「安全・安心」を提供する

カラー & ディスプレイ



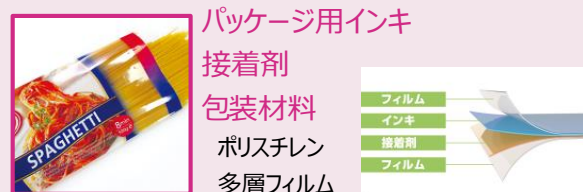
表示材料を通じて社会や暮らしに「彩り」を提供する

ファンクショナルプロダクツ

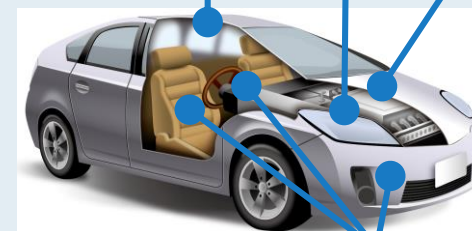
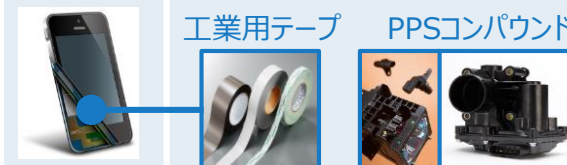
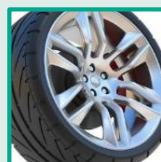


機能材料を通じて社会や暮らしに「快適」を提供する

主要製品



機能性顔料



セグメント別四半期業績推移（参考）

売上高

（億円）

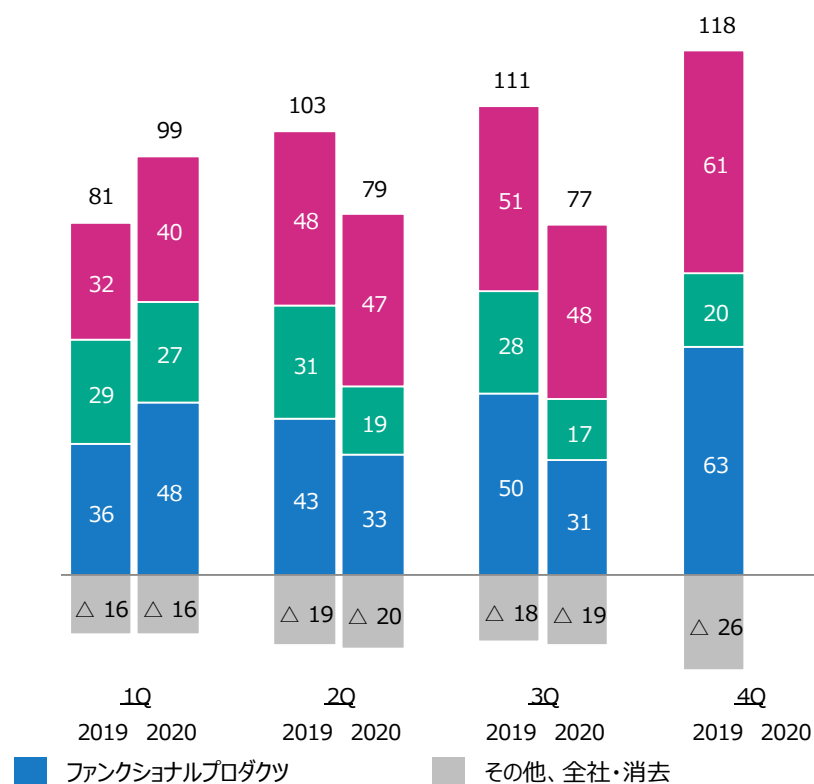


営業利益

通期の見通し（350億円）に対する進捗率

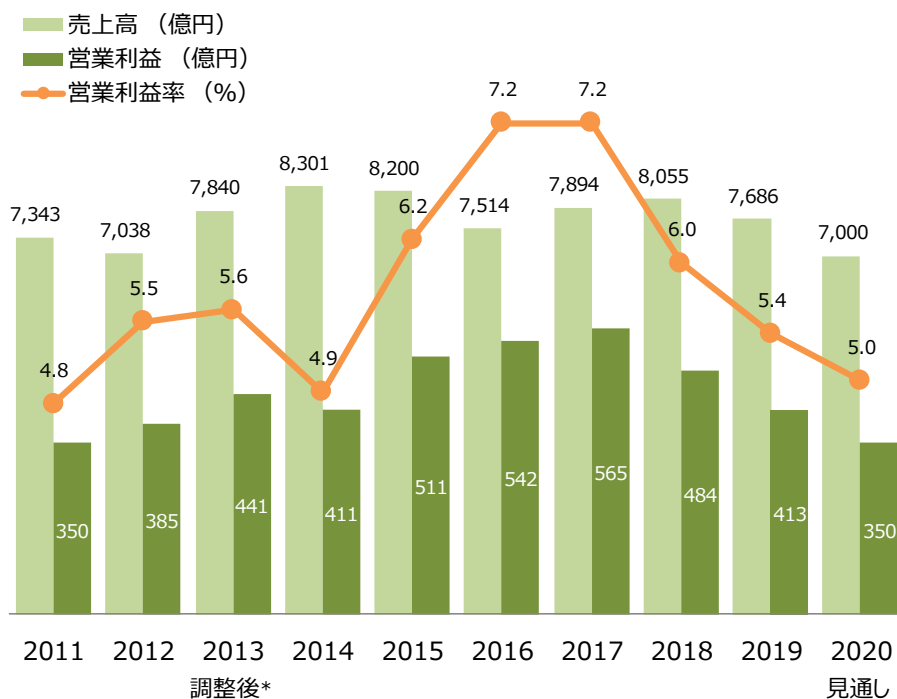
	1Q	2Q	3Q	4Q
2020 (%)	28.4	51.0	73.1	
2019 (%)	19.7	44.9	71.9	100.8

（億円）



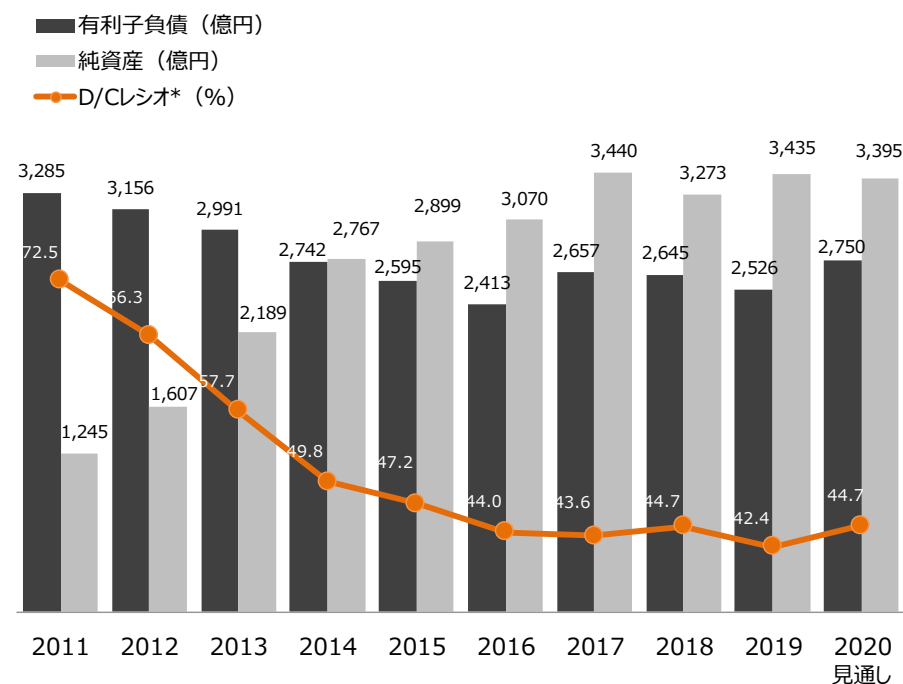
業績の推移（参考）

業績



*決算期変更の影響を調整しています

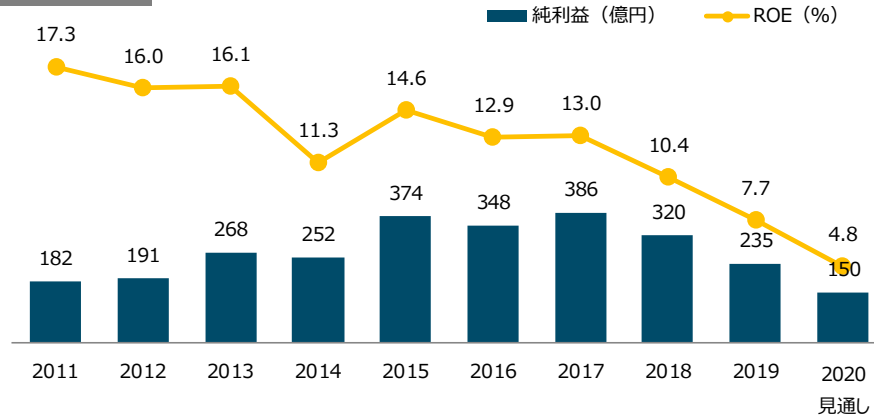
財務体質



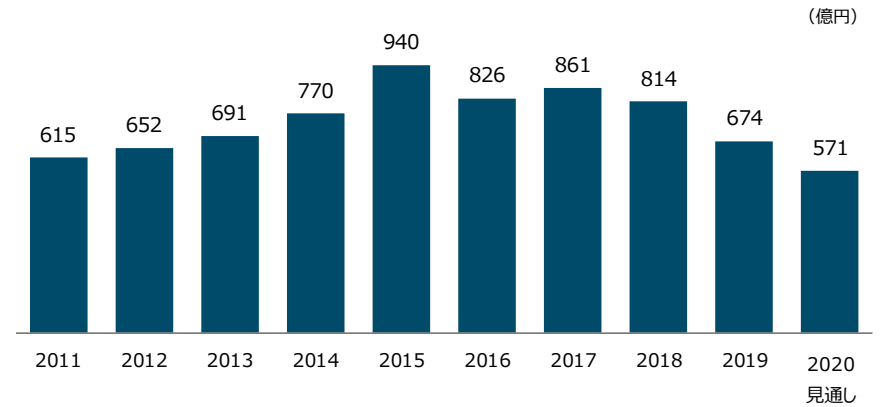
*D/CLレシオ：有利子負債／（有利子負債＋純資産）

業績の推移（参考）

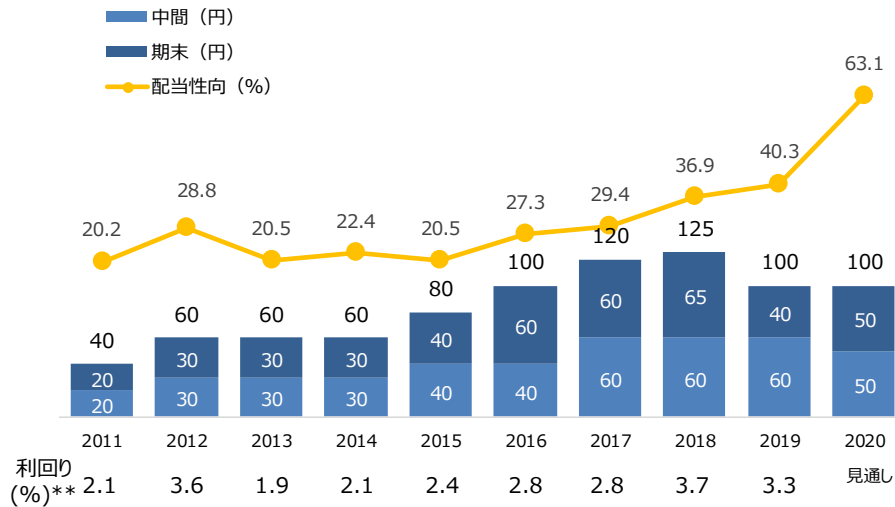
ROE



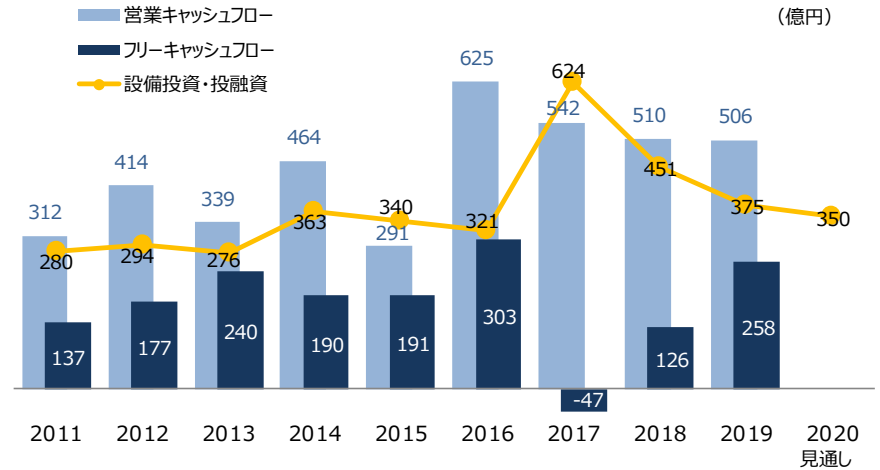
EBITDA***



株主還元*



設備投資・投融資・営業キャッシュフロー



* 株式併合の影響を調整しています

** 配当利回り：年間配当金/期末の株価終値

*** EBITDA：親会社株主に帰属する当期純利益＋法人税等合計＋支払利息－受取利息＋減価償却費＋のれん償却額



Color & Comfort

<予想に関する注意事項>

本資料は、情報の提供を目的としており、いかなる勧誘行為を行うものではありません。

業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき、当社の経営者が判断した見通しですが、実際の売上高及び利益は、記載している予想数値とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。当社は、業績見通しの正確性・完全性に関する責任を負うものではありません。

ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負うものではありません。